
吸血鬼

黒木露火

注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

【小説名】

吸血鬼

【Nコード】

N4904D

【作者名】

黒木露火

【あらすじ】

気のいい風俗嬢のサヤカがつきあう男はいつもくでなしばかり。
そんなサヤカが久しぶりに会った女友達に近況報告をするけれど…
…。

(前書き)

この作品には暴力的な描写はありませんが、男女間のDVを扱っていますので、トラウマなどある方はご注意ください。

吸血鬼

元気だった？

すっごい久しぶりだよね、エミちゃんと会ったの。

仕事どう？ 相変わらず、部屋にこもりっきりでパソコンとにらめっこ？

前とは微妙に違う？ でもパソコンは同じなんでしょ？

ふーん。

前はワープロオペレータで、今はホームページ作成？

すっごい、エミちゃん、ホームページ作れるんだあ。

うちの店もねえ、ホームページとかやってねえ、あたしの写真も載ってるの。いちおう、顔は手で隠してるけどね、彼が嫌がるから。

あ、ウエイトレスさん来た。

エミちゃん、コーヒー、アイスでいい？ ケーキセットにする？

うん、レアチーズね。エミちゃん、変わってないなあ。チーズケ

ーキ、昔から好きだったもんね。

んーとね、あたしは、チョコレートケーキがいいな。今日はね、なんとなくそういう気分。

すみませーん。アイスコーヒーでケーキセットできます？

だめ？ じゃあ、別々で、アイスコーヒー2つに、チーズケーキと、チョコレートケーキね。

……ケチな店だよねえ、ここって。夏なんだからケーキセットの飲み物もアイスOKにすればいいのにねえ。

うん？ あたしの仕事？

うん、まあ、あいかわらずよ。ははは。
先月からはね、Vマックスっていう店。んーとね、個室付マツサ
ージってやつ？

これ、名刺ね。営業用だけど。名前は本名と同じ、サヤカなの。
なんか、あっちこっちいって色んな名前を使っていると、わけわか
んなくなるじゃない？ あたし、頭悪いしね。だから、できるだけ
サヤカにしてんの。間違えないように。

入った店に他にサヤカがいたらしようがなくあきらめるけどさあ。

あははは。そうよねえ。女がヘルス嬢の名刺もらっても困るよね
え。

男だったら遊びに来てねって言うっちゃうんだけどねー。ははは。

あれから？

あれからはねえ、あっちこっち行ったなあ。っていても福岡と
か大阪くらいだけどね。

うーん。そうねえ、仕事はいつもこんな感じかな。フーズクよ、
フーズク。

お金、貯まんないよねえ。働くの嫌いだから、よくさぼっちゃう
しき。ははは。

それにねー、なんかねー、太陽が出てる間は動けないカラダにな
っちゃったのよー。

ううん。ほんとほんと。日の光を浴びるとくらくらしちゃう。は
はは。

病院行っても、軽い貧血ですとか言われてさ、鉄の錠剤出されて
さ、レバーを食べましようとかほうれん草を食べましようとか言わ
れるの。

レバー刺しだったら好物だから週に3度も食べてるっつーの。

ま、日焼けなんかしたら指名つかなくなるから、別にいーんだけ
どねー。

あ、ほら。きたきた、コーヒーとケーキ。

……んー、このチョコケーキはちよつとハズレだったかも。

エミちゃんのチーズケーキ、おいしそー。

半分ちようだい？ あたしのチョコレートケーキ食っていいからさ。

そんなマズイのなんかいらないうって？ そりゃそーだ。ははは。

なんか不思議よねえ。

あたしみたいにいじ加減な女と、エミちゃんみたいにカタギのまじめでしっかりしたコが友だちって。たまたまマンションの隣同士だったからってさ。

でもあのとき、あの男がいなかったら、エミちゃんとは友だちになれなかったんだねー。

それにしてもあの男、最低だったなあ。

あたしがいつくらで稼いでも、ぜーんぶもってっちゃうんだもんね。パチンコ。金渡さないと殴るしさ。

でも、お金渡したあと、ホテルとか行ったりすると、やさしいのよ。

ううん。ほんとだよ。あとで髪とかなでももらったりしてさ、人間誰でもいつこくらいはいいところあるんだなあって思ったよ。

でもさあ、やっぱりついてけなくて、別れ話して、そのまま出勤しちゃったのよね。店にまでは殴りこんでこないし。店長とか元ヤクザだから怖いもん。さすがにあいつも来れないでしょ。

そんで、うちに帰ったらあれよ。窓ガラス割れまくり。真冬だったのにな。

あいつに頼まれて買った大型テレビも割れて床の上に転がってるし。

一番怖かったのはあれよね。あたしの一番お気に入りの服がベッ

ドに置いてあって、心臓のあたりに包丁が、ドン。突き立ててあるの。殴られて骨折ったりはしてたけど、刃物とかは今までなかったからさ。さすがにあれはゾツとしたよね。ははは。

んで、あんまり部屋の中、すごかったからさ、ぼーっとしてたら足音が聞こえてくるじゃない？ 絶対あいつだって、なんかそう思ったのよね。そういうときの、あたしのカンって当たるんだ。

だから、ベランダから隣のベランダにバッグとコートとクツ投げ込んでから、あたしも手すり伝って逃げ込んだのよね、エミちゃんの部屋に。

あのときは、ほんと、助かった。ありがとね、エミちゃん。

エミちゃんはあたしの命の恩人だもんね。

あたしがエミちゃんちに入った直後に、あいつの怒鳴り声が聞こえてさ。なんかしらないけど、どーんどーんて暴れたりしてるの聞こえてきてさ、やっぱリーって怖くて涙出そうになった。

警察……はねえ。呼んだら、あたしも出てかないといけないじゃない？ 怖かったのよね。あいつと会うのが。

また殴られたりするんじゃないかと思って怖かったっていうのもあるけど、あいつが「ごめん」てゆって優しくされちゃったら、またあいつと一緒にいちゃうと思っただもん。そしたら、また同じだもん。あたしみたいにバカな女でもそれくらいはわかるよ。

でも、半年も隣に住んで、エミちゃんと会ったの、あのときが初めてっていうのもすごいよね。

それとき、隣だから間取りもほとんど同じなのに、こんなに部屋のふいんき違うんだあって思った。

え？ ふいんきじゃなくてふんいき？

あ、そうなの？ 知らなかったー。

エミちゃん、そういうところ、あいかわらずだよねー。

あたしが新聞、声だして読んで、間違つと必ずつっこんできて

たもんねー。あははは。

ほんと、なんであんなのと付き合っちゃったんだろ？

あとから考えると自分でも不思議なんだけどねー。

やっぱり次も似たようなのとくつついちゃったんだよねー。

なんでかなあ？

んー。今の彼氏？

タカっていつの。写真見る？

えへへへー。

でしょー。

同じ店の子もサヤカの彼氏かつこいいね、ホスト？ っていうの。背が高く髪長めでチャパツだからかなあ。ほんとホストじゃないんだけどねー。色白いし。

こんなちゃらい感じだけど、物知りだし、頭もいいんだよ。

本もよく読んでの。雑誌も読むけど、雑誌じゃなくて字ばっかりのむずかしそーなやつ。

仕事？

んー。何やってんだろねー？ 知らない。

働いて……ないんじゃないかな。よくわかんない。

吸血鬼だから昼間出られないしね。

うん。吸血鬼、なんだって、タカ。

夏の太陽なんか当たったら溶けちゃうんだって。だからうち、いつも雨戸、閉めっぱなし……うん。

うん。

……うん。

エミちゃんの言うこともわかるけど、タカ、すっごくいい人なんだよ。絶対殴らないし、いつも優しいし。

女ぐせは悪いけど、それは今までの男だってそうだったから別にいいの。でもタカは、ちゃんと明け方にはあたしの部屋に帰ってく

るし。ギャンブルに狂って借金押しつけたりするわけでもないしね。今までつきあった中では最高だと思っ。だから今までで一番長く続いているの。すっごく大好きなんだあ。ずーっとずーっと一緒にいたいなあ。えへへへ。

私たちは喫茶店の外で手を振って別れた。

ぜんぜん変わってないなあ。

自称・吸血鬼の彼氏なんて、相変わらずのダメ男・キーパーっぶりだ。

つい吹き出してしまっ。

笑いながら、笑い涙でアイラインがにじんでいないか気になって、コンパクトでチェックする。

そこには、肌のきめが荒れ、頬の筋肉の垂れてきた中年の女顔があっ。

私ははっとしてサヤカの去っていった方を見る。

吸血鬼は年をとらない。

二十歳だっ。たサヤカと二十二歳だっ。た私が知り合っ。たのは十七年前のことだ。

メイクや服装こそ最近のものになっていたけれど、彼女は《ちっとも》変わっていなかつ。

ひよっとして。

振り返っ。たときには、きわどいカットのホットパンツに包まれた

吸血鬼

形のよいサヤカの尻は、夜の街の人ごみにまぎれて見えなくなっていた。

終

広告募集中

小説関連広告に最適です。
出版社や印刷会社はもちろん、
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくは PDF 小説ネット広告募集をご覧ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4904d/>

吸血鬼

2009年3月24日10時32分発行